

安全運転研修

9月28日（土）に「安全運転研修」を開催しました。

神姫バス安全教育課による指導のもと体験型の研修を実施しました。下記にて研修内容の一部を紹介しますので、安全運転の参考にしてください。

<研修テーマ> 基本に戻る ・ 自分の限界を知る ・ 安全意識の向上

・ 開講



・ ストレッチ体操



・ 車両点検



車両点検は、ブレーキ・タイヤ・灯火類・燃料など運行前後の確認が義務付けられています。毎日の点検の積み重ねがわずかな変化への気づき、すなわち早期の異常発見につながります。

・ 「見ているようで、見ていないかも？」

・ 基本姿勢の重要性・ 視界特性と死角



大型車両には乗用車とは異なる死角が非常に多く存在します。シート・ハンドルの位置は自分の体に合うよう調整し、広い視野を確保します。

・運転と反応（緊急回避）…認知・判断・操作のメカニズム



車が停止するまでの距離は、①危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際に効き始めるまでの間に車が走る距離【空走距離】と、②ブレーキが効き始めてから車が停止するまでの距離【制動距離】の合計に③危険な状況が目から脳に伝わるまでの距離【知覚距離】が加算されます。自らの感覚を過信せず、控えめな速度と早めのブレーキを心掛けましょう。

〈受講者の感想※一部抜粋〉

- ・運転業務の経験が長くても知らなかったり、忘れてしまっていたりしていると気づきました。知覚時間について学んだことは将来自分にとって運転手としての財産になったと思います。
- ・実際に車両に乗って体験できたのでとてもわかりやすく多くのことに気づきました。
- ・思っていたよりシートベルトをしていないときの衝撃がすごかったです。
- ・自分の動体視力の限界を実感しました。
- ・私たち人間の知覚能力があまりにも貧弱であることを実感させられました。常に余裕をもって運転することを強く心に刻みます。